

JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 地域金融機関連携案件」への参画について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託事業である、2022年度「中小企業・SDGsビジネス支援事業」へのお取引先の案件申請を支援し「地域金融機関連携案件」として当行が参画する内容で採択されたことから、その内容について、下記のとおりお知らせいたします。

記

<事業概要（予定）>

案 件 名	インドネシア国アスファルト廃棄物を活用した循環型舗装技術に関する普及・実証・ビジネス化事業
採 択 法 人	株式会社菅原工業（宮城県気仙沼市、代表取締役 菅原 渉）
対 象 国 (地 域)	インドネシア国（西ジャワ州）
事 業 概 要	アスファルト廃棄物を活用した循環型舗装技術に関する普及・実証・ビジネス化事業。本実証事業において、循環型舗装技術に関する仕組み・制度の検討、パイロット事業の実施、事業成果の周知・広報を行うことで、循環型舗装技術の普及を促進し、ひいてはインドネシア国の道路状態の向上への貢献を目指す。
事業費総額	約1億円

当行では2017年2月に、独立行政法人国際協力機構東北センター（JICA東北）と「業務連携・協力に関する覚書」を締結しており、お取引先への案件採択支援は今回が3件目となります。

## (参 考) JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」について

JICA の「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。

また、「地域金融機関連携案件」は、途上国の課題を解決するSDGsビジネスの実現性向上と、地域活性化に一層資することを目的に、提案法人と地域金融機関が連携して海外展開を検討・調査する案件のことを指します。

### (関連するSDGs)



#### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以 上